

家庭を学びの環境に ～すすんで学ぶ子どもをめざして～

保護者の皆様へ

～「確かな学力」の土台は、基本的な生活習慣の確立としつけ～

教育の原点は「家庭」にあります。子どもの教育は家庭から始まり、子どもたちは、家族との温かい関わりや体験を通して多くのことを学び、たくましく成長します。

ところが最近、「人との関わりが苦手」「学びへの意欲が低下している」など子どもたちの様々な課題が指摘され、家庭の学習面でも「学ぶ習慣は身に付いているのか？」「学習時間は確保できているのか？」などと、問われています。

紀伊中学校では、今こそ学校と家庭が一致協力して、子どもたちに健康な心身と道徳性を育て、「確かな学力」を身に付けさせなければならないと考えます。

この「家庭学習の手引き」は、特に教科の学習に焦点を当て、各家庭で子どもたちが、自分の力で目標を持って学習を進めていけるよう、大切なことや具体的なアドバイス、ヒントなどを集めて作成しました。

しかし、家庭学習の習慣化を図るには、「早寝早起きをする」「挨拶をする」「家事を分担する」などの基本的な生活習慣の確立としつけが大切であり、まず家庭で取り組まなければならないと考えています。

紀伊中学校では、家庭における基本的な生活習慣の確立としつけを土台に、豊かな自然体験や社会体験を通して、子どもたちに、学ぶことの意味や楽しさ、人と関わることの素晴らしさに気づかせ、自分に自信と誇りをもってほしいと思っています。また、学んだことをぜひ家庭や地域での生活に生かしてほしいと願っております。

保護者の皆様にも以上の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いし、子どもたちの家庭学習がさらに充実するように、この手引きをご活用いただければ幸いです。

子どもの「学ぶ力」は家庭学習から育ちます

そんなおおげさな！ と、思われるかもしれませんが、実際、家庭学習に励んでいる子どもたちには、自分に自信をもち、積極的にあらゆる学習に取り組んでいる子どもたちが多いのです。もちろん、「学ぶ力」を育てることは学校教育の重要な役割ですが、むしろ家庭での関わり方によって、その育ち方は大きく変わります。

家庭（保護者）と学校（教師）とが「家庭学習」を通して協力し合うことが大切です。

我が家の凡事徹底と家庭学習

「当たり前のことが当たり前にできる」いわゆる「凡事徹底」をあなたの家で、学校で、地域でいろいろなところで、やってみましょう。

- ・あいさつをする
- ・人の話を聞く
- ・相手を思いやる
- ・いじめをしない
- ・時間を守る
- ・靴を並べる
- ・清掃をする など

生活にリズムを

「早寝早起きをする」「朝食をきちんと食べる」など、規則正しい生活リズムが日々の子どもの生活を充実させ、家庭学習の習慣化につながります。

「がんばり」を見逃さずに

子どもの学習に目を向け、必要な声かけや見届け（点検）を行いましょう。ねばり強い努力を本気でほめましょう。

勉強時間を決めて

最初は短く、だんだん長く。目安は15分×学年（中1は「7」として計算します）です。テレビを見ながら、おやつを食べながらはやめましょう。

すすんで学ぶ好奇心を

身のまわりや社会の出来事に目が向くように働きかけましょう。PTA行事や地域行事への参加をすすめましょう。

読書に親しむ

まずは家庭での読書や読み聞かせをしましょう。図書館や書店で本との出会いも楽しいものです。

情報（インターネット）との正しいつきあい方を

役立つ道具ですが、同時に危険性もあわせてもっています。ルールを守り、家族の目の届くところで楽しく使わせましょう。

一緒に家事を

家族の一員としての責任感と自立心を育てましょう。家族が協力して家事を行うことで、それぞれの大切さを学びます。

先生と連絡を

わからないこと、困ったことは、遠慮せずに先生に相談しましょう。子どもたちのことを、先生と一緒に考えてみましょう。

中学校 1・2 年生

⇒ 計画的・継続的な学びを進める

中学校 1・2 年生
こんな時期

学習時間のめやす
105～120分

「育ち」や「学び」の特徴

いわゆる「思春期」（大人への入り口）といわれる時期です

- ・心と体の成長がアンバランスになりがちで、不安や悩みを抱えやすくなります。
- ・家族に依存したいという気持ちと、家族から自立したいという気持ちが混在します。
- ・矛盾する大人の態度に反抗的になります。また、仲間や友だちの影響を強く受けます。
- ・他人から見た自分を意識し、比べて落ち込んだり、無理に合わせようとしたりします。
- ・中学校生活を有意義に過ごすためには、部活動との両立が大切です。

学習内容の特色（学校で）

授業の内容が大きく変わります

- ・教科ごとに先生が変わることに加え、小学校で学習する内容に比べ、中学校の内容は、質・量とともに、ずいぶん違ったものになります。

自分から課題を見つける家庭学習に変化していきます

- ・最初は宿題から、やがて自分自身で勉強方法や内容を工夫して、何をするか自分で考え決められるようになることが大切です

家庭学習のつぼ 3か条

① 予習で工夫を！ 復習に重点を！

あらかじめ自分で調べたり考えたりして、授業に臨めば、課題を見つける力もつきます。また、その日のうちに、教科書やノート、プリントを使って学習のポイントを整理し、思い出すように働きかけましょう。「継続」は「習慣」となります。

② 学校のプリントの有効活用を！

学校（先生）のプリントには学習のポイントが整理されています。有効に利用しようアドバイスしましょう

③ 「急がば回れ」の気持ちで！

問題に取り組んでいて分からない時は、分かるところまで戻ってやり直すとともに、間違ったところは、必ず見直すことが大切です。先生に相談することもよいでしょう。学習課題をやりきったという達成感と自信が、さらなるやる気を起こします。

ワンポイントアドバイス

中学校1・2年生

家庭学習 こんな内容・方法で

- ・毎日、何時間勉強する、毎日、教科書（問題集）を何ページするなど、具体的な目標を立てよう
- ・学校の時間割に合わせて、予習復習の計画を立てよう
- ・毎日決まった場所で、決まった時間に、決まった教科を勉強しよう

- 国語**
- ・はっきりと声に出して教科書を読もう。繰り返して読むことが大切です。
 - ・漢字は何回も書いて、確実に覚えるようにしよう。
 - ・意味の分からない語句は、国語辞典で調べて確かめておこう。
 - ・小説や物語を読んで、自分の生き方を考えてみよう。推薦図書はぜひ読もう。

- 社会**
- ・新聞やテレビで話題になっていることを、自分でも考えてみる習慣をつけよう。
 - ・教科書を繰り返し読んで、内容の理解に努めるようにしよう。
 - ・学習したことを、ノートに工夫してまとめたり、語句カードをつくったりしてみよう。

- 数学**
- ・その日の授業で取り組んだ計算問題を、やり直しよう。
 - ・教科書に載っている文章題と同じ種類の問題を、ワークなどを使って解いてみよう。
 - ・図やグラフなどの資料を見ながら、なぜそうなるのかを考えるようにしよう。

- 理科**
- ・その日の授業で学習したことをまとめたり整理したりするなど、ノート作りを工夫しよう。
 - ・テレビや新聞などで、科学に関することに疑問や関心をもって調べてみよう。

- 英語**
- ・新出語（句）と基本文は、声に出しながら繰り返し書こう。
 - ・教科書で習った本文は、まず、声に出して読んでみよう。読めたら、その意味を日本語で書いて、今度はその日本文を見ながら英文が書けるまで練習しよう。
 - ・習った基本文型や文法を用いて、自分に関係のあることから英文で書いてみよう。

長い休みには、例えばこんなことを

- ・音楽関係の情報を集め、催しに進んで参加し、いろいろな音楽に親しもう。
- ・見慣れている果物や野菜、室内の様子などを題材に、スケッチをしてみよう。
- ・衣服の管理や調理、生活に役立つ「ものづくり」にチャレンジしよう。
- ・健康や安全に関するテレビ番組などを家族と一緒に視聴し、家族の健康や生活を振り返ろう。縄跳びやジョギングなどの運動を続けよう。

中学校3年生

⇒ 自分の目標を明確に持つ

中学校3年生
こんな時期

学習時間のめやす
2時間～3時間

「育ち」や「学び」の特徴

まさに、「人生の節目」の時期です

- ・自らの進学などの進路決定をするときがだんだん近づいてきます。
- ・「やらなくては」と分かっているが、思うようにならない自分に苛立ちを覚えます。
- ・気持ちが不安定になり、大人がかける言葉に敏感になり、時には反抗することがあります。

進路に関する情報が不足していると、一層不安が募ります

- ・本人も保護者も、学校などから正しい進路情報を得るようにしましょう。
- ・将来を見据えた目標を持つことが、本人のやる気にもつながります。

学習内容の特色（学校で）

- ・目先の進路だけを意識すると対策的な学習になりがちですが、基礎・基本を確実に身につける総復習が必要です。3年生の授業の復習と1・2年の内容の復習をする必要があります。

家庭学習ワンポイントアドバイス

まず、ノートを見て、その日の授業を振り返りましょう

- ・詳しく知りたいことや、分かりにくかったことは、教科書や参考書で確かめましょう。
- ・国語の漢字や語句、英語の単語や文型などは、繰り返し書いて覚えましょう。
- ・数学の計算や文章題は、同じ問題や似た問題を問題集で解いてみましょう。
- ・社会や理科では、大切な事を分かりやすくまとめておきましょう。

テスト日をめやすにして、スケジュール管理をしましょう

- ・定期テストや教科の小テストなど、いつ・何があるかをカレンダーに書き込んでおきましょう。
- ・テスト範囲とテストまでの日数を考えて、その日のうちに何を勉強するかも書き込みます。
- ・スケジュールをもとに計画的に学習に取り組めたら、カレンダーにチェックを入れましょう。

夏休みはこんなことを！

- ・1・2年までの総復習を集中して続ける絶好の機会です。
- ・部活動を引退したら、気持ちを切り替えて計画的な勉強に一層力を入れましょう。読書を通して心を育てましょう。

冬休みはこんなことを！

- ・進路希望が明確になります。進路を見据えて、ラストスパートです。出題傾向を調べ、進路希望に合った問題集などに挑戦しましょう。

中学3年生になったら、生活習慣の点検を！

朝食は必ずとる！

・朝食をとると、

- ①体温を上昇させ、血流を良くする、
- ②食事からのエネルギーが脳に供給され、活発に活動を開始する、
- ③嘔む、飲み込むと言った行為によって感覚神経も刺激される、

など体全体を目覚めさせてくれます。朝食抜きは、集中力に欠けるなど脳の働きにも影響します。

最近、栄養バランスの崩れや欠食など食習慣の乱れにより、生活習慣病の増加などの問題が生じています。

睡眠時間はたっぷりと！

・睡眠不足では疲れがとれません。夜更かしをやめ、明日の生活にベストコンディションで望めるようにしましょう。

心にも休養と栄養補給を！

・季節が進むにつれ、ひとつのテストの結果や成績の上がり下がり一喜一憂することが多くなり、心が疲れてしまうこともあるかと思います。ひとりで苦しまずに、周りからサポートをしっかり受けながら、うまく気分転換もできるようにしよう。

計画的に時間を使う！

- ・特に、部活動を引退後は、帰宅してから夕食までの時間を有効に活用して生活リズムを整えましょう。テレビなどの視聴は番組を選び、時間を決めるようにしましょう。分担した家事も続けましょう。
- ・学習活動を中心とした生活を送りながらも、それ以外の学校生活や家庭での役割を大切にし、“時間に追われる”のではなく、“時間を使いこなせる”ようになろう。

家庭学習の

手引き

和歌山市立紀伊中学校